



S-TEAM 教育推進事業 「STEAM」 推進プロジェクト  
外部連携支援事業（学校活用型）実施報告書

学校名	北海道札幌北陵高等学校
実施日時	令和6年11月18日（月） 13:50～15:50
講師	玉川大学教職大学院 教授 久保田 善彦
実施概要	<p>1 ねらい</p> <p>本校の学校教育目標の「自己を開く」の達成のため、総合的な探究の時間のプログラムの一環として、久保田善彦先生から「STEAM の分野横断的な発想の必要性」の講義を受け、生徒の探究的な学びの深化及び進路選択の一助とする。</p> <p>2 日程</p> <p>令和6年11月18日（月） 13:50～15:50</p> <p>3 講義、実習等の概要</p> <p>講義テーマ「STEAM の分野横断的な発想の必要性」 対象：1 学年全員（320 名） 内容</p> <p>①講師の教員時代の経験や、STEAM の分野横断的な発想の必要性についての講義を行った。</p> <p>②講師が開発に携わったアプリの体験や、Google フォームを用いた振り返りなど、協働的な活動を講義の中に取り入れながら理解を深めた。</p> <p>③講演で得た知見などを生徒がまとめて、プレゼンテーション資料をつくり、各クラスで共有した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>4 成果（生徒・教員の変容及びねらいの達成状況等）</p> <p>次の生徒の振り返りのコメントから、STEAM の分野横断的な発想の必要性を理解し、振り返ることで、これからの進路選択に向けた知見を得ることができた。</p>

(1) 振り返り 1 「講義のポイント」

- AI や IoT が発達した現代では予測が難しい不確実で複雑な社会になっている。一般的な教養に加えて STEAM を学ぶことが、これからの社会に必要なようになってくる。STEAM を学んでいた人が企業などで必要とされる人材となる。
- 単一の視点では解決できない複合的な課題が増加している現代社会において、STEAM は本当に重要で必要だと思った。中でも A に当たる “Art “ (芸術) ・ “Arts “ (教養) は STEM の中に人間性を補う部分であり、STEAM をバランスよく取り入れられるようにしたいと思った。

(2) 振り返り 2 「講義の感想」

- 大学の文系学部でも、学科によっては理系教科を中心に使う学習をするところもある。その逆もあるから、よく調べて、よく知ることが大事だと感じた。
- これからの時代を生きていく私たちにとって、STEAM をバランスよく取り入れることは大切だと思った。それらの力を取り入れ、育てていくために、高校・大学での学習を大切にしていかなければならないと思う。これから文理選択があるが、こだわりすぎることなく、多様な力を育てたいと思った。